



## JR 連合「第14回業種間安全検討会」開催！ 「航空連合沖縄」と安全について意見交換！

12月4日、JR連合「第14回業種間安全検討会」が「航空連合沖縄」の協力のもと、安全対策委員会15名は、那覇空港における安全の取り組みを学び意見交換を行った。JREユニオンからは三瓶委員が参加した。「業種間安全検討会」はJR以外の産業・企業における安全確保やコンプライアンス遵守などの取り組みを学ぶ機会として開催され、今回は同じ交通運輸産業である航空産業における安全の取り組みを学ぶべく、航空連合沖縄に協力のもと開催された。（航空連合・組合員41,419人）

冒頭、JR連合を代表して松岡会長より、「安全なくして運輸産業の発展はない。航空連合の取り組みを学び『すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ』の実現につなげたい」と挨拶があった。続いて、航空連合沖縄の平澤事務局長より、「交通運輸産業で働く仲間として学ぶことが大いにあると思う。意見交換を通じて安全の新たな気づきをしたい」との挨拶をいただいた。



那覇空港の発着回数は国内5番目で、周辺離島の航路など人・物流の拠点でありながら混雑航空に指定されていない上、さらには自衛隊とも共同使用しており、さまざまな制約を受けている。その様な中、安全の確保を最優先にしながら定時性を求められている状況にある。施設見学は、ANA沖縄空港オペレーションセンターや、「安全考道資料館」、JTAメンテナンスセンター、客室モックアップ施設を案内され説明を受けた。その後意見交換を行い、相互に今後とも安全に対する取り組みをさらに向上させることを確認し終了した。

**安全に対する認識は共通！交通運輸産業に携わる者として、  
お客様の安全はもとより、そこに働く者の安全を確立しよう！**